

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS.
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-57227

(P2000-57227A)

(43) 公開日 平成12年2月25日 (2000.2.25)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60
19/00

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21
15/30

テーマコード* (参考)

3 4 0 A
L

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願平11-189689

(22) 出願日 平成10年8月10日 (1998.8.10)

(71) 出願人 000106690

サン電子株式会社

愛知県江南市古知野町朝日250番地

(72) 発明者 炭▲電▼ 辰巳

愛知県江南市古知野町朝日250番地 サン
電子株式会社内

(72) 発明者 八木 純三

愛知県江南市古知野町朝日250番地 サン
電子株式会社内

(74) 代理人 100064344

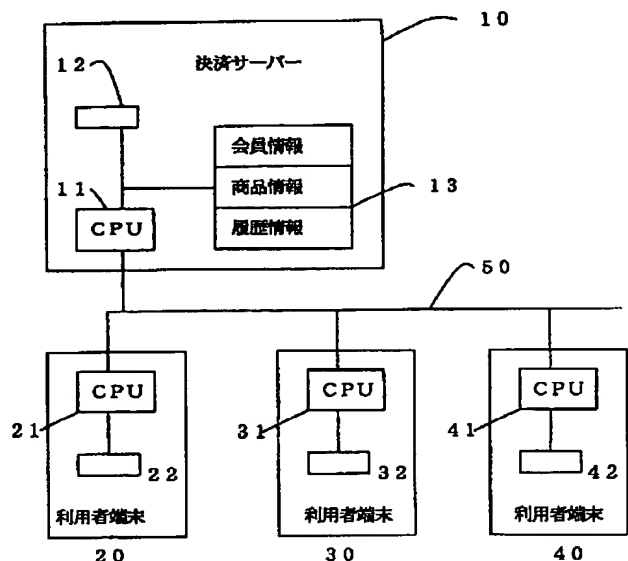
弁理士 岡田 英彦 (外3名)

(54) 【発明の名称】 オンライン決済装置

(57) 【要約】

【課題】 利用者が任意の決済方法を選択することができるオンライン決済装置を提供する。

【解決手段】 決済サーバー10の記憶手段13には、会員番号及び暗証番号と、決済コードや決済種別コードを含む決済情報が会員情報として記憶されている。利用者が利用者端末20で購入商品を選択するとともに会員番号及び暗証番号を入力すると、決済サーバー10は、利用者端末20に入力された会員番号及び暗証番号に基づいて認証を行い、認証がOKであれば商品代金の決済を行う。この時、複数の決済情報が登録されており、その中の1つが予め選択されていない場合には、利用者端末20に登録されている決済情報を表示して、利用者に決済情報を選択させる。そして、決済サーバー10は、選択された決済情報に基づいて決済を行う。複数の決済情報が選択された場合には、選択された複数の決済情報による合算決済を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 決済サーバーと、前記決済サーバーと通信回線を介して接続された複数の端末装置とを備え、前記決済サーバーは、利用者識別番号及び暗証番号と複数の決済情報を利用者毎に記憶する記憶手段を備え、前記端末装置に利用者識別番号及び暗証番号を含む決済指示が入力された場合、入力された利用者識別番号及び暗証番号と前記記憶手段に記憶されている利用者識別番号及び暗証番号とが一致したときに当該利用者識別番号に対応する複数の決済情報の中の予め選択されている決済情報に基づいて決済を行うオンライン決済装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載のオンライン決済装置であって、前記決済サーバーは、予め選択されている複数の決済情報に基づいて合算決済を行うオンライン決済装置。

【請求項 3】 決済サーバーと、前記決済サーバーと通信回線を介して接続された複数の端末装置とを備え、前記決済サーバーは、利用者識別番号及び暗証番号と複数の決済情報を利用者毎に記憶する記憶手段を備え、前記端末装置に利用者識別番号及び暗証番号を含む決済指示が入力された場合、入力された利用者識別番号及び暗証番号と前記記憶手段に記憶されている利用者識別番号及び暗証番号が一致したときに前記記憶手段に記憶されている当該利用者識別番号に対応する決済情報を前記端末装置に送信するとともに、前記端末装置で選択された決済情報に基づいて決済を行い、前記端末装置は、前記決済サーバーから受信した決済情報を選択可能に出力するオンライン決済装置。

【請求項 4】 請求項 3 に記載のオンライン決済装置であって、前記端末装置は、1つの決済情報を選択する指示が入力された場合には、1つの決済情報を選択可能に前記決済サーバーから受信した決済情報を出力するとともに、選択された1つの決済情報を前記決済サーバーに送信し、また複数の決済情報を選択する指示が入力された場合には、複数の決済情報を選択可能に前記決済サーバーから受信した決済情報を出力するとともに、選択された複数の決済情報を前記決済サーバーに送信し、前記決済サーバーは、前記端末装置から1つの決済情報を受信した場合には、当該受信した1つの決済情報に基づいて決済を行い、前記端末装置から複数の決済情報を受信した場合には、当該受信した複数の決済情報による合算決済を行うオンライン決済装置。

【請求項 5】 請求項 3 に記載のオンライン決済装置であって、前記端末装置は、前記決済サーバーから受信した決済情報を選択可能に出力するとともに、1つの決済情報が選択された場合には、当該選択された1つの決済情報を前記決済サーバーに送信し、複数の決済情報が選択された場合には、当該選択された複数の決済情報を前記決済サーバーに送信し、前記決済サーバーは、前記端末装置から1つの決済情報を受信した場合には、当該受

信した1つの決済情報に基づいて決済を行い、前記端末装置から複数の決済情報を受信した場合には、当該受信した複数の決済情報による合算決済を行うオンライン決済装置。

【請求項 6】 請求項 2 または 4 または 5 に記載のオンライン決済装置であって、前記決済サーバーは、選択された複数の決済情報及び各決済情報に対して設定された決済金額に基づいて合算決済を行うオンライン決済装置。

10 【請求項 7】 請求項 1～6 のいずれかに記載のオンライン決済装置であって、前記記憶手段に記憶される決済情報には決済種別コードと決済コードが含まれているオンライン決済装置。

【請求項 8】 請求項 1～7 のいずれかに記載のオンライン決済装置であって、前記端末装置は、決済情報登録指示が入力されると、入力された決済情報登録指示に対応する決済種別の登録画面を表示し、前記決済サーバーは、前記登録画面で入力された決済コードと当該登録画面に対応する決済種別コードを含む決済情報を利用者識別番号に対応させて前記記憶手段に記憶するオンライン決済装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品の購入及び商品代金の決済を通信回線を介してオンラインで行うことができるオンライン決済装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、通信回線を介してオンラインで商品を購入することが可能となっている。このようなオンライン購入システムでは、利用者は予め利用者識別番号（会員番号）及び暗証番号（パスワード）と購入した商品の代金の決済方法（支払方法）を登録する必要がある。例えば、口座振替によって商品代金を支払う場合には金融機関名や口座番号等を登録し、商品代金をクレジットで支払う場合にはクレジットの種類やクレジット番号等を登録する必要がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のオンライン購入システムでは、オンラインで商品を購入する場合の決済方法を登録する場合には、1つの決済方法しか選択することができない。例えば、口座振替により決済を行う場合には1つの銀行の口座しか選択することができず、クレジットにより決済を行う場合には1つのクレジットの種類やクレジット番号しか選択することができない。また、口座振替やクレジット等の決済種別を指定されている場合もある。このように、従来のオンライン購入システムにおける決済装置では、1つの決済方法しか選択することができないため、利用者にとって非常に不便であった。本発明は、このような問題点を解決するために創案されたものであり、利用者が容易に複数の決済方法の

中から任意の決済方法を選択することができる決済装置を提供することを課題とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために、請求項1に記載の発明は、決済サーバーと、前記決済サーバーと通信回線を介して接続された複数の端末装置とを備え、前記決済サーバーは、利用者識別番号及び暗証番号と複数の決済情報を利用者毎に記憶する記憶手段を備え、前記端末装置に利用者識別番号及び暗証番号を含む決済指示が入力された場合、入力された利用者識別番号及び暗証番号と前記記憶手段に記憶されている利用者識別番号及び暗証番号とが一致したときに当該利用者識別番号に対応する複数の決済情報の中の予め選択されている決済情報に基づいて決済を行うオンライン決済装置である。請求項1に記載のオンライン決済装置を用いれば、決済サーバーは、登録されている複数の決済情報の中から利用者が予め選択した決済情報に基づいて決済を行う。これにより、利用者は、複数の決済方法を登録さえしておけば、容易に複数の決済方法の中から任意の決済方法を選択することができる。また、請求項2に記載の発明は、前記決済サーバーは、予め選択されている複数の決済情報に基づいて合算決済を行う請求項1に記載のオンライン決済装置である。請求項2に記載のオンライン決済装置を用いれば、決済サーバーは、登録されている複数の決済情報の中から利用者が予め選択した複数の決済情報に基づいて合算決済を行う。これにより、利用者は、容易に複数の決済方法の中から任意の決済方法を選択することができる。また、複数の決済方法により合算決済を行うことができるため、利用者は個々の決済方法の残高や決済可能金額等に始終注意を払う必要がない。また、請求項3に記載の発明は、決済サーバーと、前記決済サーバーと通信回線を介して接続された複数の端末装置とを備え、前記決済サーバーは、利用者識別番号及び暗証番号と複数の決済情報を利用者毎に記憶する記憶手段を備え、前記端末装置に利用者識別番号及び暗証番号を含む決済指示が入力された場合、入力された利用者識別番号及び暗証番号と前記記憶手段に記憶されている利用者識別番号及び暗証番号が一致したときに前記記憶手段に記憶されている当該利用者識別番号に対応する決済情報を前記端末装置に送信するとともに、前記端末装置で選択された決済情報に基づいて決済を行い、前記端末装置は、前記決済サーバーから受信した決済情報を選択可能に出力するオンライン決済装置である。請求項3に記載のオンライン決済装置を用いれば、端末装置は、利用者が登録している決済情報を選択可能に出力するとともに、選択された決済情報を決済サーバーに送信し、決済サーバーは、選択された決済情報に基づいて決済を行う。これにより、利用者は、決済を行う毎に複数の決済方法の中から任意の決済方法を選択することができる。また、請求項4に記載の発明は、前記端

末装置は、1つの決済情報を選択する指示が入力された場合には、1つの決済情報を選択可能に前記決済サーバーから受信した決済情報を出力するとともに、選択された1つの決済情報を前記決済サーバーに送信し、また複数の決済情報を選択する指示が入力された場合には、複数の決済情報を選択可能に前記決済サーバーから受信した決済情報を出力するとともに、選択された複数の決済情報を前記決済サーバーに送信し、前記決済サーバーは、前記端末装置から1つの決済情報を受信した場合には、当該受信した1つの決済情報に基づいて決済を行い、前記端末装置から複数の決済情報を受信した場合には、当該受信した複数の決済情報による合算決済を行う請求項3に記載のオンライン決済装置である。請求項4に記載のオンライン決済装置を用いれば、端末装置は、利用者が1つの決済情報による決済を希望する場合には1つの決済情報を選択可能に出力し、複数の決済情報に基づく合算決済を希望する場合には複数の決済情報を選択可能に出力する。これにより、利用者は、決済毎に1つの決済方法で決済を行うか複数の決済方法による合算決済を行うかを選択することができる。また、請求項5に記載の発明は、前記端末装置は、前記決済サーバーから受信した決済情報を選択可能に出力するとともに、1つの決済情報が選択された場合には、当該選択された1つの決済情報を前記決済サーバーに送信し、複数の決済情報が選択された場合には、当該選択された複数の決済情報を前記決済サーバーに送信し、前記決済サーバーは、前記端末装置から1つの決済情報を受信した場合には、当該受信した1つの決済情報に基づいて決済を行い、前記端末装置から複数の決済情報を受信した場合には、当該受信した複数の決済情報による合算決済を行う請求項3に記載のオンライン決済装置である。請求項5に記載のオンライン決済装置を用いれば、端末装置は、1つあるいは複数の決済情報を選択可能に出力するとともに、選択された1つあるいは複数の決済情報を決済サーバーに送信し、決済サーバーは、1つの決済情報を受信した場合には当該1つの決済情報に基づいて決済を行い、複数の決済情報を受信した場合には当該複数の決済情報に基づいて合算決済を行う。これにより、利用者は、決済情報を選択する操作だけで1つの決済方法による決済を行うか、複数の決済方法による合算決済を行うかを選択することができる。また、請求項6に記載の発明は、前記決済サーバーは、選択された複数の決済情報及び各決済情報に対して設定された決済金額に基づいて合算決済を行う請求項2または4または5に記載のオンライン決済装置である。請求項6に記載のオンライン決済装置を用いれば、合算決済を行う複数の決済方法の選択及び各決済方法での決済金額の設定を行うことができるため、利用者にとって便利である。また、請求項7に記載の発明は、前記記憶手段に記憶される決済情報には決済種別コードと決済コードが含まれている請求項1～6のい

10

20

30

40

50

ずれかに記載のオンライン決済装置である。請求項7に記載のオンライン決済装置を用いれば、決済サーバーの処理が容易となる。また、請求項8に記載の発明は、前記端末装置は、決済情報登録指示が入力されると、入力された決済情報登録指示に対応する決済種別の登録画面を表示し、前記決済サーバーは、前記登録画面で入力された決済コードと当該登録画面に対応する決済種別コードを含む決済情報を利用者識別番号に対応させて前記記憶手段に記憶する請求項1～7のいずれかに記載のオンライン決済装置である。請求項8に記載のオンライン決済装置を用いれば、決済サーバーの処理が容易となる。

【0005】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態を図面を用いて説明する。図1は、本発明の一実施の形態を示す図である。本実施の形態のオンライン決済装置は、決済サーバー10、利用者端末（端末装置）20、30、40、決済サーバー10と利用者端末20、30、40とを接続する通信回線50等によって構成されている。決済サーバー10は、処理手段（CPU）11、入力手段や表示手段等12、記憶手段13を有している。記憶手段13には、利用者毎の利用者識別番号（会員番号）及び暗証番号（パスワード）と決済方法を示す決済情報を含む利用者情報（会員情報）、購入可能な商品の商品名、商品価格、商品内容、交換玉数等の商品情報（コンテンツ情報）、各利用者の購入履歴や各商品の販売履歴等の履歴情報等が記憶されている。利用者端末20、30、40は、処理手段（CPU）21、31、41、入力手段や表示手段等22、32、42等を有している。利用者端末20、30、40は、各家庭のパソコン等を用いることができ、またコンビニエンスストアや遊技店等に設置することもできる。

【0006】記憶手段13に記憶されている会員情報の一例を図2に示す。図2に示すように、各利用者（会員）毎に、利用者識別番号（会員番号）及び暗証番号（パスワード）と利用者によって登録されている各決済方法を示す決済情報、例えばクレジット決済情報、口座決済情報、電話決済情報、貯玉決済情報等が記憶されている。クレジット決済情報としては、例えばクレジット番号、暗証番号、クレジット決済を示すクレジット識別コード等が記憶される。口座決済情報としては、例えば口座番号、暗証番号、口座決済を示す口座識別コード等が記憶される。電話決済情報としては、例えば電話回線番号、暗証番号、ID、電話料金決済を示す電話識別コード等が記憶される。貯玉決済情報としては、ホール会員番号、暗証番号、貯玉決済を示す貯玉識別コード等が記憶される。なお、商品情報は、例えば商品サーバー等の決済サーバー10以外のサーバーに記憶させることもできる。ここで、本明細書では、クレジット番号、口座番号、電話回線番号、ホール会員番号等を「決済コード」という。また、クレジット識別コード、口座識別コ

ード、電話識別コード、貯玉識別コード等は、決済方法の種別を識別するためのものであり、「決済識別コード」という。なお、決済情報の暗証番号の記憶は省略することもできる。

【0007】次に、本実施の形態の動作を説明する。なお、利用者端末20、30、40の動作は同じであるため、以下の説明では利用者端末20について説明する。オンライン購入システムに入会するには、例えば利用者端末20の表示手段に「メニュー選択画面」が表示されている状態で「オンライン入会申込み」を選択する。これにより、図3に示す「オンライン入会申込み画面」が表示される。「オンライン入会申込み画面」では、商品代金の支払い方法（決済方法）の選択や会員情報（利用者情報）等の変更を行うこともできる。本実施の形態では、商品代金の支払い方法として口座振替、クレジット、電話料金（商品代金を電話料金に加算して請求する）、貯玉交換（ホールプレーヤ会員の貯玉で商品代金を支払う）を利用することができる。なお、ホールプレーヤ会員とは、パチンコ店等の遊技店で発行されたICカード等の会員カードを所有している会員である。ホールプレーヤ会員は、遊技店で発行された会員カードに記憶されているホール会員番号及びその暗証番号をオンライン入会申込み時に利用者識別番号（会員番号）及び暗証番号として用いることができる。この場合には、ホールプレーヤ会員は、商品代金を貯玉（ホールプレーヤ会員が遊技店で獲得した玉は、貯玉として預けることができる。この貯玉は、景品と交換することができ、また再遊技を行うために引き落とすこともできる。）で支払うことができる。

【0008】「オンライン入会申込み画面」で口座振替の「新規会員の入会申込み」を選択した後、「OK」を選択すると、図4に示す「口座振替—新規会員入会申込み画面」が表示される。「口座振替—新規会員入会申込み画面」では、会員番号（利用者識別番号）、暗証番号、氏名、住所等の必要な事項を入力する。会員番号及び暗証番号は、利用者が任意に入力することができる。入力した内容を取り消す場合には「取消」を選択し、「オンライン入会申込み画面」に戻る場合には「オンライン申込み画面に戻る」を選択する。必要事項を入力した後、「登録」を選択すると、入力された各情報が利用者端末20から決済サーバー10に送信される。そして、決済サーバー10から受信完了信号が送信されると、利用者端末20の表示手段に「メニュー選択画面」が表示される。そして、後日、口座振替に必要な金融機関名や口座番号等を記入する口座振替届出書が利用者に郵送される。利用者は、口座振替届出書に必要事項を記入して送り返す。なお、口座振替に必要な金融機関名や口座番号等を、会員番号や暗証番号とともに利用者端末20から入力できるように構成してもよい。この時、決済サーバー10は、口座番号や口座識別コード等の決済

情報を利用者識別番号に対応させて記憶手段 13 に記憶する。なお、以後の新規会員入会申込みにおいても同様であるが、新規の会員の場合には、利用者識別番号に対応させて暗証番号も記憶手段 13 に記憶する。また、会員番号と暗証番号が与えられた会員でなければ、各種決済方法の登録を行えないようにすることもできる。

【0009】「オンライン入会申込み画面」でクレジットの「新規会員の入会申込み」を選択した後、「OK」を選択すると、図 5 に示す「クレジット—新規会員入会申込み画面」が表示される。「クレジット—新規会員入会申込み画面」では、会員番号、暗証番号、氏名、住所、クレジットカードのクレジット番号等の必要事項を入力する。必要事項を入力した後、「登録」を選択すると、入力された各情報が決済サーバー 10 に送信される。そして、決済サーバー 10 から受信完了信号が送信されると、利用者端末 20 の表示手段に「メニュー選択画面」が表示される。この時、決済サーバー 10 は、クレジット番号やクレジット識別コード等の決済情報を利用者識別番号に対応させて記憶手段 13 に記憶する。

【0010】「オンライン入会申込み画面」で電話料金の「新規会員の入会申込み」を選択した後、「OK」を選択すると、図 6 に示す「電話料金支払—新規会員入会申込み画面」が表示される。「電話料金支払—新規会員入会申込み画面」では、会員番号、暗証番号、電話回線番号、ID、契約者名等の必要事項を入力する。必要事項を入力した後、「登録」を選択すると、入力された各情報が決済サーバー 10 に送信される。そして、決済サーバー 10 から受信完了信号が送信されると、利用者端末 20 の表示手段に「メニュー選択画面」が表示される。この時、決済サーバー 10 は、電話回線番号、ID、電話回線識別コード等の決済情報を利用者識別番号に対応させて記憶手段 13 に記憶する。

【0011】なお、利用者端末 20 から送信された会員番号や暗証番号がすでに他の会員によって使用されている場合には、会員番号や暗証番号の変更が指示される。会員番号や暗証番号の変更指示は、決済サーバー 10 から利用者端末 20 に送信してもよいし、後日利用者に郵送してもよい。会員番号や暗証番号の変更指示を利用者端末 20 に送信する場合には、例えば決済サーバー 10 から利用者端末 20 に受信完了信号に代えて変更指示信号を送信し、利用者端末 20 の表示手段に表示されている会員番号や暗証番号を点滅させるとともにメッセージを表示する。利用者は、点滅している会員番号や暗証番号を変更して再度「登録」を選択する。「オンライン入会申込み画面」で「ホールプレーヤ会員の入会申込み」を選択した場合には、利用者は、会員番号及び暗証番号として各遊技店で発行された会員カードのホール会員番号及びその暗証番号を入力することができる。ホールプレーヤ会員の入会申込みを行った場合には、商品代金を貯玉で支払うことができる。また、すでに電話料金支払

い方法を利用している利用者の入会申込みの場合には、電話料金支払い方法に用いている会員番号及びその暗証番号を入力する。また、すでに電話料金支払い方法を利用しており、かつホールプレーヤ会員である利用者の入会申込みの場合には、電話料金支払い方法に用いている会員番号及びその暗証番号あるいは会員カードのホール会員番号及びその暗証番号を入力することができる。

【0012】さらに、決済方法としては、1 つの決済方法を登録することもできるし、複数の決済方法を登録することもできる。複数の決済方法を登録する場合には、異なる決済種別コードの決済情報を登録する方法、同じ決済種別コードで複数の決済コードを登録する方法、これらを組み合わせで登録する方法がある。複数の決済方法を登録する場合には、「新規会員の入会申込み画面」を用いて追加登録できるようにしてもよいし、複数の決済方法を登録できる画面を用意してもよい。複数の決済方法を登録した場合には、図 2 に示すように、会員識別番号及びその暗証番号と、各決済方法を示す複数の決済情報が会員情報として記憶手段 13 に記憶される。

【0013】複数の決済方法が登録されている場合には、利用者は、決済時までどの決済方法で決済するかを決定する必要がある。また、決済を行う場合、1 つの決済方法により決済する方法と複数の決済方法により合算決済する方法がある。合算決済方法とは、各決済方法による決済金額の合計によって商品の代金を決済する方法である。1 つの決済方法により決済する場合には、登録されている複数の決済方法の中から 1 つの決済方法を選択する必要がある。1 つの決済方法を選択する方法としては、登録されている複数の決済方法の中の 1 つの決済方法を予め選択する方法、複数の決済方法の中の 1 つの決済方法を決済時に選択する方法がある。1 つの決済方法を予め選択する方法を用いる場合には、例えば、登録されている複数の決済方法の中から 1 つの決済方法を選択する方法を用いる場合には、例えば登録されている複数の決済方法を決済時に端末装置に表示させ、利用者が複数の決済方法の中から 1 つの決済方法を選択できるように構成する。なお、1 つの決済方法を予め選択する方法を用いるか、決済時に選択する方法を用いるかを利用者が選択できるように構成することもできる。

【0014】複数の決済方法により合算決済する場合には、複数の決済方法の中から決済に用いる複数の決済方法を選択する必要がある。決済に用いる複数の決済方法を選択する方法としては、登録されている複数の決済方法の中から決済に用いる複数の決済方法を予め選択する方法、複数の決済方法の中から決済に用いる複数の決済方法を決済時に選択する方法がある。決済に用いる複数の決済方法を予め選択する方法を用いる場合には、例えば、登録されている複数の決済方法の中から決済に用いる複数の決済方法を選択できるように構成する。決済に用い

る複数の決済方法を決済時に選択する方法を用いる場合には、例えば登録されている複数の決済方法を決済時に端末装置に表示させ、利用者が複数の決済方法の中から決済に用いる複数の決済方法を選択できるように構成する。なお、決済に用いる複数の決済方法を予め選択する方法を用いるか、決済時に選択する方法を用いるかを利用者が選択できるように構成することもできる。また、複数の決済方法による合算決済を行う場合には、合算決済を行う複数の決済方法を選択可能に構成するとともに、選択した各決済方法毎の決済金額を決定可能に構成するのが好ましい。

【0015】以上のようにして入力された会員番号（利用者識別番号）、暗証番号、決済方法を示す決済情報、例えば口座番号や口座識別コード等を含む口座決済情報、クレジット番号やクレジット識別コード等を含むクレジット決済情報、電話回線番号、IDや電話識別コード等を含む電話決済情報、ホール会員番号や貯玉識別コード等を含む貯玉決済情報は、決済サーバー10の記憶手段13に各会員に対応させて会員情報として記憶される。なお、商品情報の出力、会員番号や暗証番号の入力、決済方法の選択等は音声で行うこともできる。

【0016】次に、利用者端末20からオンラインで商品の購入及び決済を行う場合の、利用者端末20及び決済サーバー10の動作の第1の実施例を説明する。第1の実施例では、登録されている複数の決済方法の中の1つの決済方法により決済を行う。例えば、利用者端末20の表示手段に「メニュー選択画面」が表示されている状態で「商品購入」が選択されると、例えば図7に示す「商品一覧画面」が表示される。「商品一覧画面」では、購入可能な商品の商品名、商品の価格、商品の内容概要等が表示される。利用者は、商品を購入する場合には、購入希望の商品名を選択し（例えば、カーソルで指示した状態でクリック操作を行う）た後、「購入する」を選択する。商品の購入を中止する場合には、「中止」を選択する。商品の内容を詳細に知りたい場合には、商品名を選択した後、「商品詳細説明」を選択する。「商品詳細説明」が選択されると、例えば図8に示すように、選択された商品の「商品詳細説明画面」が表示される。利用者は、商品を購入する場合には、「購入する」を選択する。「商品一覧画面」に戻る場合には、「前画面に戻る」を選択する。

【0017】図7に示す「商品一覧画面」あるいは図8に示す「商品詳細説明画面」で「購入する」が選択されると、例えば図9に示す「商品購入画面」が表示される。利用者が、「商品購入画面」で会員番号及び暗証番号を入力した後、「OK」を選択すると、すなわち利用者端末20に会員番号（利用者識別番号）及び暗証番号を含む決済指示が入力された場合には、利用者端末20は入力された会員番号及び暗証番号を決済サーバー10に送信する。決済サーバー10は、利用者端末20で入力

された会員番号及び暗証番号を記憶手段13に記憶されている会員番号及び暗証番号と比較する。会員番号及び暗証番号が一致した時、当該会員番号に対応する決済情報として1つの決済情報しか登録されていない場合には、決済サーバー10は、認証OK信号を利用者端末20に送信する。また、会員番号及び暗証番号が一致しない場合には、決済サーバー10は、認証NG信号を利用者端末20に送信する。決済情報として1つの決済情報しか登録されていない場合には、記憶手段13の会員情報には、図10に示すように、利用者識別番号及びその暗証番号と、決済コード（クレジット番号、口座番号、電話回線番号等の番号コード）、決済種別コード（口座識別コード、クレジット識別コード、電話識別コード等）が記憶される。利用者端末20は、認証OK信号を受信すると、例えば図11に示す「金額確認画面」を表示する。図11に示す「金額確認画面」では、購入希望商品の商品名、価格が表示される。なお、登録されている決済情報を決済サーバー10から利用者端末20に送信し、「金額確認画面」に決済情報に対応する決済方法を表示させることもできる。例えば、図11に示す「金額確認画面」の△△△に、口座振替、クレジット、電話料金支払等を表示したり、銀行名、クレジット会社名等を表示する。利用者が、「金額確認画面」で「購入する」を選択すると、利用者端末20は購入指示を決済サーバー10に送信する。これにより、決済サーバー10は、登録されている決済情報に基づいて商品代金の決済を行う。そして、商品の発送指示を行う。なお、商品がゲームソフト、画像データ、音楽データ等の情報である場合には、これらの情報を利用者端末20にダウンロードするように構成することもできる。利用者端末20は、認証NG信号を受信した場合には、エラーメッセージを出力するとともに、「商品購入画面」を表示して会員番号及び暗証番号を再入力させるか、あるいは「メニュー選択画面」を表示する。

【0018】一方、決済サーバー10は、会員番号及び暗証番号は一致したが、当該会員番号に対応する決済情報として複数の決済情報、例えば複数の決済識別コードあるいは同一の決済識別コードの複数の決済コードが登録されており、かつ複数の決済情報の中の1つの決済情報が予め選択されていない場合には、認証OK信号とともに当該会員番号に対応して登録されている各決済情報を利用者端末20に送信する。利用者端末20は、認証OK信号と決済情報を受信した場合には、例えば図12に示す「金額確認画面」を表示する。この場合、「金額確認画面」には、購入希望商品の商品名、価格、受信した決済情報に対応する決済方法が表示される。図12は、決済識別コードの異なる複数種類の決済情報が登録されている場合の例であり、クレジット決済情報、口座決済情報、電話決済情報が登録されていることを表示している。利用者が、「金額確認画面」に表示されている

決済方法の中から今回の決済方法を選択した後、「購入する」を選択すると、利用者端末 20 は選択された決済方法に対応する決済情報を決済サーバー 10 に送信する。これにより、決済サーバー 10 は、選択された決済情報に基づいて、すなわち選択された決済情報に対応する決済方法で商品代金の決済を行う。

【0019】なお、「金額確認画面」には、登録されている決済方法を利用者が理解できれば、クレジット、口座振替、電話料金等の決済方法を表示してもよいし、金融機関名、クレジット会社名等を表示してもよいし、クレジット番号、口座番号、電話番号等を表示してもよいし、それらを組み合わせて表示してもよい。また、決済種別コードが同じである決済コードが複数登録されている場合、例えば複数の口座番号が登録されている場合には、図 12 に示す「金額確認画面」に、登録されている複数の口座番号を表示し、任意の口座番号を選択可能に構成することもできる。あるいは、利用者が図 12 に示す「金額確認画面」に表示されている口座振替を選択することにより、登録されている複数の口座番号を表示し、任意の口座番号を選択可能に構成することもできる。この場合、複数の口座番号や複数のクレジット番号等が登録されていることを「金額確認画面」に表示するのが好ましい。

【0020】また、入会時に会員番号及び暗証番号として各遊技店で発行された会員カードのホール会員番号及びその暗証番号を入力した利用者の場合には、決済方法として貯玉決済を登録あるいは選択することができる。決済情報として 1 つの貯玉決済情報のみが登録されている場合には、利用者端末 20 に会員番号及び暗証番号を含む決済指示が入力された時に、例えば図 13 に示す「商品交換玉数確認画面」が表示される。図 13 に示す「商品交換玉数確認画面」では、購入する商品の商品名、交換玉数、引落としホール名、交換前の貯玉数、交換後の貯玉数等が表示される。この場合、決済サーバー 10 は、会員番号、すなわちホール会員番号に基づいて利用者がホール会員である遊技店の会員サーバー等から当該ホール会員の貯玉数を読み取るとともに、記憶手段 13 に記憶されている商品情報から希望商品の交換玉数を読み取って、交換玉数、交換前貯玉数及び交換後貯玉数を表示する。各会員の貯玉の交換率が異なる場合には、商品情報、貯玉の交換率等に基づいて購入希望商品の交換玉数を計算し、交換玉数、交換前貯玉数及び交換後貯玉数等を表示するのが好ましい。なお、会員番号及び暗証番号の認証を遊技店の会員サーバー等で行ってもよい。利用者が「商品交換玉数確認画面」で「交換」を選択すると、利用者端末 20 から決済サーバー 10 に購入指示が送信される。これにより、決済サーバー 10 は、商品と交換する交換玉数を会員番号、すなわちホール会員番号に対応する遊技店の会員サーバー等へ送信する。遊技店の会員サーバー等は、該当するホール会員の

貯玉数から受信した交換玉数を減算して貯玉数を更新する。なお、会員サーバー 10 に各遊技店の会員情報を適宜の時間に収集して記憶しておき、記憶している会員情報に含まれている貯玉数に基づいて各ホール会員の商品交換を行うこともできる。

【0021】決済情報として貯玉決済情報以外にも登録されており、かつその中の 1 つの決済情報が予め選択されていない場合には、図 12 に示す「金額確認画面」の決済方法の欄に登録されている決済情報に対応する決済方法が表示される。決済サーバー 10 は、利用者によって選択された決済方法により商品代金の決済を行う。貯玉決済情報が登録されている場合には、「商品一覧画面」、「商品詳細説明画面」、「金額確認画面」等に交換玉数や貯玉数等も表示するのが好ましい。例えば、図 14 に示す「貯玉残高確認画面」を表示可能に構成する。図 14 に示す「貯玉残高確認画面」では、会員番号に対応する利用者が会員となっている遊技店の店名、遊技店のグループ名、各遊技店のホール会員番号、各遊技店の貯玉数が表示されている。このように、各遊技店における貯玉数を表示することにより、利用者はどの遊技店の貯玉を商品と交換するかを容易に選択することができる。

【0022】会員番号及び暗証番号が一致し、当該会員番号に対応して登録されている複数の決済情報の中の 1 つの決済情報が予め選択されている場合には、利用者端末 20 には例えば図 11 に示す「金額確認画面」が表示される。この場合、「金額確認画面」には、購入希望商品の商品名、価格が表示される。なお、「金額確認画面」の△△△には、予め選択されている 1 つの決済情報に対応する決済方法、例えば決済情報の決済種別コードに対応する口座振替、クレジット、電話料金等を表示するのが好ましい。また、決済種別コードが同じ決済コードが複数登録されている場合、例えば口座番号やクレジット番号等が複数登録されている場合には、どの口座あるいはクレジットで決済されるのか分かり難いので、予め選択されている決済情報が分かるように表示するのが好ましい。例えば、〇〇銀行あるいは△△クレジット会社等を表示したり、口座番号やクレジット番号を表示する。「金額確認画面」で利用者が「購入する」を選択すると、商品の購入指示が決済サーバー 10 に送信される。これにより、決済サーバー 10 は、予め選択されている決済情報に基づいて商品代金の決済を行う。

【0023】次に、利用者端末 20 からオンラインで商品の購入及び決済を行う場合の、利用者端末 20 及び決済サーバー 10 の動作の第 2 実施例を説明する。第 2 実施例では、登録されている複数の決済方法の中の 1 つの決済方法による決済あるいは選択された複数の決済方法による合算決済を行うことができる。第 1 の実施の形態と同様に、利用者が、「購入」を選択した後、利用者端末 20 に会員番号及び暗証番号を含む決済指示を入力す

ると、利用者端末 20 は入力された会員番号及び暗証番号を決済サーバー 10 に送信する。決済サーバー 10 は、受信した会員番号及び暗証番号と記憶手段 13 に記憶されている会員番号及び暗証番号が一致した時、当該会員番号に対応する決済情報として 1 つの決済情報が登録あるいは選択されている場合には、第 1 の実施例と同様の方法で決済を行う。会員番号及び暗証番号が一致し、当該会員番号に対応する決済情報として複数の決済情報が登録されているが、1 つの決済情報が選択されていない場合には、決済サーバー 10 は、認証 OK 信号と当該会員番号に対応して登録されている各決済情報を利用者端末 20 に送信する。利用者端末 20 は、認証 OK 信号と複数の決済情報を受信すると、例えば図 15 に示す「金額確認画面」を表示する。図 15 に示す「金額確認画面」では、購入希望商品の商品名、価格、決済方法が表示される。図 15 に示す「金額確認画面」では、決済方法として、1 つの決済方法により決済を行うか、複数の決済方法により合算決済を行うかを選択可能に表示されている。

【0024】利用者が「金額確認画面」で「1 つの決済方法選択」を選択すると、利用者端末 20 には、例えば図 16 に示す「決済方法選択画面」が表示される。図 16 に示す「決済方法選択画面」には、当該会員番号に対応して登録されている複数の決済情報が表示され、その中の 1 つの決済情報が選択可能に表示される。図 16 に示す「決済方法選択画面」では、クレジット決済情報、口座決済情報、貯玉決済情報が登録されていることが表示されている。この場合、登録されている決済情報の表示方法としては、決済種別コードに対応するクレジットや口座等、銀行名やクレジット会社名等、決済コードに対応する口座番号やクレジット番号等を単独あるいは組み合わせで表示することができる。なお、クレジット番号や口座番号等の決済種別コードが同じである決済コードが複数登録されている場合には、登録されている各クレジット番号や口座番号に対応する情報、例えばクレジット会社名や銀行名等を表示するのが好ましい。利用者が、1 つの決済方法を選択した後、「購入する」を選択すると、利用者端末 20 は、選択された決済方法に対応する決済情報を決済サーバー 10 に送信する。これにより、決済サーバー 10 は、選択された決済情報に基づいて商品代金の決済を行う。

【0025】利用者が「決済方法選択画面」で「複数の決済方法選択」を選択すると、利用者端末 20 には、例えば図 17 に示す「合算決済方法選択画面」が表示される。「合算決済方法選択画面」には、決済サーバー 10 から送信された、当該会員番号に対応して登録されている複数の決済情報が表示され、その中の複数の決済情報が選択可能に表示される。図 17 では、クレジット決済情報、口座決済情報、貯玉決済情報が登録されていることが表示されている。利用者が、合算決済を行う決済方法

を複数選択した後、「購入する」を選択すると、利用者端末 20 には、例えば図 18 に示す「金額入力画面」が表示される。図 18 に示す「金額入力画面」では、選択された決済方法が表示されるとともに、選択された各決済方法で決済する金額を設定可能に表示されている。図 18 に示す「金額入力画面」では、クレジット決済、口座決済、貯玉決済が合算決済を行う決済方法として選択されていることを表示している。利用者は、この「金額入力画面」で各決済方法の決済金額を設定する。この場合、貯玉決済に対しては貯玉数を設定することができる。貯玉決済を行う場合には、商品金額に対応する交換玉数、設定された貯玉数を表示するのが好ましい。そして、各決済方法の決済金額の合計が商品代金と等しくなった後、利用者が「購入する」を指示すると、利用者端末 20 は、選択された決済方法に対応する決済情報と各決済情報に対応する決済金額を決済サーバー 10 に送信する。これにより、決済サーバー 10 は、選択された決済情報及び設定された各決済情報に対応する決済金額に基づいて商品代金の合算決済を行う。なお、図 18 に示す「金額入力画面」では、各決済方法に対応する預金残高、貯玉数、取引可能金額等を表示するのが好ましい。

【0026】以上の実施の形態では、合算決済を行う決済方法を決済時に選択したが、合算決済を行う決済方法を予め選択しておくこともできる。合算決済を行う決済方法を予め選択する場合には、各決済方法に対応する決済金額を決済時に決定することもできるし、決済金額の設定を省略することもできる。合算決済を行う決済方法を予め選択する場合には、図 15 に示す「金額確認画面」ではなく、図 11 に示す「金額確認画面」を表示する。この時、予め選択されている複数の決済情報に対応する決済方法が利用者に分かるように表示するのが好ましい。決済金額を決済時に決定する場合には、図 11 に示す「金額確認画面」で「購入する」が選択されると、図 18 に示す「金額入力画面」が表示される。利用者は、「金額入力画面」で各決済方法に対応する決済金額を設定する。利用者端末 20 は、決済金額と決済金額が設定された決済方法に対応する決済情報を含む購入指示を決済サーバー 10 に送信する。決済サーバー 10 は、決済金額が設定された決済情報に基づいて商品代金の決済を行う。決済金額の設定を省略する場合には、例えば選択されている決済方法に優先順位を付しておく。この場合には、図 11 に示す「金額確認画面」に、予め選択されている複数の決済方法や各決済方法の優先順位等が利用者に分かるように表示するのが好ましい。そして、図 11 に示す「金額確認画面」で「購入する」が選択されると、利用者端末 20 は購入指示を決済サーバー 10 に送信する。決済サーバー 10 は、購入指示を受信すると、予め選択されている決済方法の中の優先順位の最も高い（あるいは低い）決済方法により商品代金の決済を行う。この決済方法での決済可能な上限金額の範囲内で

商品代金の決済を行えない場合（例えば、商品代金が取引可能な金額より高い場合、商品との交換玉数が貯玉数より多い場合等）には、選択された決済方法の中から次に優先順位の高い（あるいは低い）決済方法により残りの代金の決済を行う。以下、同様にして、商品代金の決済が完了するまで優先順位に基づいて順次決済を行う。

【0027】また、「金額確認画面」で「1つの決済方法選択」あるいは「複数の決済方法選択」を選択することによって、1つの決済方法によって決済を行うか、複数の決済方法による合算決済を行うかを決定したが、この操作を省略することもできる。例えば、会員番号及び暗証番号が一致し、複数の決済情報が登録されているが、その中の1つが予め選択されていない場合には、例えば図17に示す「決済方法選択画面」を表示させる。利用者は、1つの決済方法によって決済を行う場合には、「決済方法選択画面」で1つの決済方法を選択した後、「購入する」を選択する。利用者端末20は、1つの決済方法が選択されたことを判別し、選択された1つの決済方法に対応する決済情報を含む購入指示を決済サーバー10に送信する。決済サーバー10は、1つの決済情報を受信した場合には、選択された1つの決済情報に基づいて決済を行う。また、利用者は、複数の決済方法による合算決済を行う場合には、「決済方法選択画面」で合算決済を行う複数の決済方法を選択した後、「購入する」を選択する。利用者端末20は、複数の決済方法が選択されたことを判別し、図18に示す「金額入力画面」を表示する。「金額入力画面」の決済方法の欄には、選択された複数の決済方法が表示される。利用者は、「金額入力画面」で、選択した各決済方法毎の決済金額を設定した後、「購入する」を選択する。利用者端末20は、選択された複数の決済方法に対応する決済情報及び各決済情報毎に設定された決済金額を含む購入指示を決済サーバー10に送信する。決済サーバー10は、受信した複数の決済情報及び各決済情報に対応して設定された決済金額に基づいて決済を行う。このように、選択した決済方法の数によって1つの決済方法による決済あるいは複数の決済方法による合算決済を自動的に決定することができるため、利用者の操作が容易になる。

【0028】以上は、利用者が利用者端末からオンラインで商品の購入及び決済を行う場合について説明したが、販売実績や購入履歴等を確認することもできる。例えば、「メニュー選択画面」で「販売実績」を選択した後、「商品指定画面」で商品を指定すると、記憶手段13に記憶されている履歴情報から各商品の所定期間内の販売実績を読み出し、図19に示す「販売実績確認画面」を表示する。これにより、各商品の販売実績を知ることができる。また、例えば「メニュー選択画面」で「購入実績」を選択した後、「利用者指定画面」で利用者を指定すると、記憶手段13に記憶されている履歴情

報から指定された利用者の所定期間内の購入履歴を読み出し、図20に示す「購入履歴確認画面」を表示する。これにより、各利用者の購入履歴を知ることができる。

【0029】なお、オンライン決済を行う場合の表示画面の表示方法、商品の選択方法や決済方法の選択方法等は、前記実施の形態に限定されず種々変更可能である。また、本発明は、オンライン決済方法としても構成することができる。すなわち、決済サーバーと、前記決済サーバーと通信回線を介して接続された複数の端末装置とを用いて決済を行うオンライン決済方法であって、前記決済サーバーに利用者識別番号及び暗証番号と複数の決済情報を利用者毎に記憶させておき、前記端末装置に利用者識別番号及び暗証番号を含む決済指示が入力された場合、前記決済サーバーは入力された利用者識別番号及び暗証番号と予め記憶している利用者識別番号及び暗証番号とが一致したときに当該利用者識別番号に対応する複数の決済情報の中の予め選択されている決済情報に基づいて決済を行うオンライン決済方法。また、決済サーバーと、前記決済サーバーと通信回線を介して接続された複数の端末装置とを用いて決済を行うオンライン決済方法であって、前記決済サーバーに利用者識別番号及び暗証番号と複数の決済情報を利用者毎に記憶させておき、前記端末装置に利用者識別番号及び暗証番号を含む決済指示が入力された場合、前記決済サーバーは前記端末装置に入力された利用者識別番号及び暗証番号と予め記憶している利用者識別番号及び暗証番号とが一致したときに当該利用者識別番号に対応する決済情報を前記端末装置に送信し、前記端末装置は選択された決済情報を前記決済サーバーに送信し、前記決済サーバーは選択された決済情報に基づいて決済を行うオンライン決済方法。また、前記オンライン決済方法であって、前記端末装置は、1つの決済情報を選択する指示が入力された場合には、利用者識別番号に対応する複数の決済情報の中から決済のための1つの決済情報を選択可能に出力するとともに、選択された1つの決済情報を前記決済サーバーに送信し、また複数の決済情報を選択する指示が入力された場合には、利用者識別番号に対応する複数の決済情報の中から決済のための複数の決済情報を選択可能に出力するとともに、選択された複数の決済情報を前記決済サーバーに送信し、前記決済サーバーは前記端末装置から受信した決済情報に基づいて1つの決済情報による決済あるいは複数の決済情報による合算決済を行うオンライン決済方法。また、前記オンライン決済方法であって、前記端末装置は、前記決済サーバーから受信した決済情報を選択可能に出力するとともに、1つの決済情報が選択された場合には、当該選択された1つの決済情報を前記決済サーバーに送信し、複数の決済情報が選択された場合には、当該選択された複数の決済情報を前記決済サーバーに送信し、前記決済サーバーは、前記端末装置から受信した決済情報に基づいて1つの決済情報によ

る決済あるいは複数の決済情報による合算決済を行うオンライン決済方法。

【0030】

【発明の効果】以上説明したように、請求項 1 に記載のオンライン決済装置を用いれば、容易に複数の決済方法の中から任意の決済方法を選択することができる。また、請求項 2 に記載のオンライン決済装置を用いれば、複数の決済方法により合算決済を行うことができる。また、請求項 3 に記載のオンライン決済装置を用いれば、決済を行う毎に複数の決済方法の中から任意の決済方法を選択することができる。また、請求項 4 に記載のオンライン決済装置を用いれば、決済毎に 1 つの決済方法で決済を行うか複数の決済方法による合算決済を行うかを選択することができる。また、請求項 5 に記載のオンライン決済装置を用いれば、決済情報を選択する操作だけで 1 つの決済方法で決済を行うか、複数の決済方法による合算決済を行うかを選択することができる。また、請求項 6 に記載のオンライン決済装置を用いれば、合算決済を行う複数の決済方法の選択及び各決済方法での決済金額の設定を行うことができる。また、請求項 7 及び請求項 8 に記載の記載のオンライン決済装置を用いれば、決済サーバーの処理が容易となる。

【図面の簡単な説明】

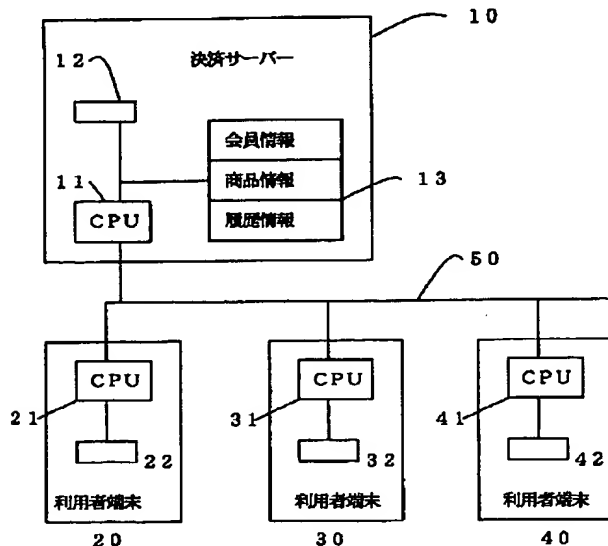
【図 1】 オンライン決済装置の一実施の形態を示す図である。

【図 2】 複数の決済情報が登録されている会員情報を示す図である。

【図 3】 オンライン入会申込み画面を示す図である。

【図 4】 口座振替一新規会員入会申込み画面を示す図で

【図 1】



ある。

【図 5】 クレジット—新規会員入会申込み画面を示す図である。

【図 6】 電話料金支払—新規会員入会申込み画面を示す図である。

【図 7】 商品一覧画面を示す図である。

【図 8】 商品詳細説明画面を示す図である。

【図 9】 商品購入画面を示す図である。

【図 10】 1 つの決済情報が登録されている会員情報を示す図である。

【図 11】 1 つの決済方法しか登録されていない場合あるいは 1 つの決済方法が予め選択されている場合の金額確認画面を示す図である。

【図 12】 第 1 の実施例の金額確認画面を示す図である。

【図 13】 商品交換玉数確認画面を示す図である。

【図 14】 貯玉残高確認画面を示す図である。

【図 15】 第 2 の実施例の金額確認画面を示す図である。

【図 16】 決済方法選択画面を示す図である。

【図 17】 合算決済方法選択画面を示す図である。

【図 18】 金額入力画面を示す図である。

【図 19】 販売実績確認画面を示す図である。

【図 20】 購入履歴確認画面を示す図である。

【符号の説明】

10 決済サーバー

13 記憶手段

20、30、40 利用者端末

【図 2】

利用者電話番号 地区番号 クレジット（クレジット番号、暗証番号） 口座（口座番号、暗証番号）

【図 7】

商品一覧画面		
商品名	価格	内容概要
〇〇ゲーム	300 円	お子様向けのゲームです。
××ゲーム	1000 円	大人向けのゲームです。
△△ソフト	2000 円	実務用ソフトウェアです。
：	：	：
：	：	：
購入する 中止 商品詳細説明 次画面		

【図 3】

オンライン入会申込み

決済方法に口座振替を利用する。

☐ 新規会員の入会申込み
☐ ホールプレーヤ会員の入会申込み

決済方法にクレジットを利用する。

☐ 新規会員の入会申込み
☐ ホールプレーヤ会員の入会申込み
☐ クレジット変更の申込み

決済方法に電話料金を利用する。

☐ 新規会員の入会申込み
☐ ホールプレーヤ会員の入会申込み

会員情報を変更する。

☐ パスワード
☐ その他

【図 4】

口座振替—新規会員入会申込み

会員番号

暗証番号

氏名 (フリガナ)

氏名 (漢字)

電話番号

E-mail

生年月日

郵便番号

住 所

FAX番号

性 別 ☐ (1:男性, 2:女性)

【図 5】

クレジット—新規会員入会申込み

会員番号

暗証番号

氏名 (フリガナ)

氏名 (漢字)

電話番号

E-mail

生年月日

郵便番号

住 所

FAX番号

性 別 ☐ (1:男性, 2:女性)

クレジットカードの番号

有効期限

【図 6】

電話料金支払—新規会員入会申込み

会員番号

暗証番号

利用電話番号

利用回線種別 ☐ (1:アナログ, 2:ISDN)

I D

利用開始希望日

契約者名(フリガナ)

契約者氏名(漢字)

郵便番号

契約者住所

申込者連絡先(名前)

申込者連絡先(電話)

使用者名

INS工事日

【図 11】

金額確認画面

ご利用ありがとうございます。
代金は△△△にてお支払いいただきます。

商品名	価 格
○○ゲーム	300円

【図 12】

金額確認画面

ご利用ありがとうございます。
代金の支払い方法を御選択ください。

商品名	価 格
○○ゲーム	300円

決済方法: ☐ クレジット
☐ 口座振替
☐ 電話料金

【図 10】

利用者識別番号	暗証番号	決済コード (クレジット、口座、電話)	決済種別コード
---------	------	---------------------	---------

【図8】

商品詳細説明画面

〇〇ゲーム 300円
 ファイル:xxxx.exe 容量:250KB
 3才から10才までのお子様に最適な知育ゲームです。

【図9】

商品購入画面

ご購入には会員番号とパスワードを入力してください。

会員番号 : *****
 暗証番号 : *****

【図14】

貯玉残高確認画面

現在の貯玉口座残高状況です。

残高	グループ名	店名	会員番号
2500	〇〇〇〇	〇〇〇店	*****
1300	△△△△	△△△店	*****
3000	□□□□	□□□店	*****

【図13】

商品交換玉数確認画面

ご利用ありがとうございます。
 代金はご指定されましたホールの貯玉と交換させていただきます。

価格	交換玉数	商品名
4000円	1000個	〇〇ゲーム(バチンコへの道2)

引当し指定ホール名	交換前貯玉数	交換後貯玉数
×××ホール(名古屋店)	2864玉	1864玉

【図17】

合算決済方法選択画面

あなたの登録決済方法は以下のとおりです。
 合算される口座を選択してください。

選択	種別	会社名	会員番号
<input type="checkbox"/>	クレジット	〇〇〇〇	*****
<input type="checkbox"/>	口座引落	△△銀行	*****
<input type="checkbox"/>	貯玉	□□□店	*****

【図15】

金額確認画面

ご利用ありがとうございます。
 代金の決済方法をご選択ください。

商品名	価格
〇〇ゲーム	300円

決済方法

【図16】

決済方法選択画面

あなたの登録決済方法は以下のとおりです。
 決済方法を選択してください。

選択	種別	会社名	会員番号
<input type="checkbox"/>	クレジット	〇〇〇〇	*****
<input type="checkbox"/>	口座引落	△△銀行	*****
<input type="checkbox"/>	貯玉	□□□店	*****

【図18】

金額入力画面

各決済方法で決済される金額を入力してください。

金額	種別	会社名	会員番号
500	クレジット	〇〇〇〇	*****
800	口座引落	△△銀行	*****
300	貯玉	□□□店	*****

【図19】

販売実績確認画面

ID:1234567 1998年01月販売実績

商品名	日付	売上高	手数料	返金金額
(ゲーム)五目並べ	1998/01/10	500	50	450
	1998/01/20	0	0	0
	1998/01/22	1000	100	900
	1998/01/25	3000	300	2700
	1998/01/27	5000	500	4500
	1998/01/28	1500	150	1350
合計		11000	1100	9900

【図 20】

購入履歴確認画面					
ID:1234567		山田 太郎 様		1998年01月ご利用履歴	
購入日時	購入商品名	決済方法	金額	玉	引き落としホール
1998/01/10 19:23:32	(ゲーム) 五目並べ	クレジット	500		
1998/01/20 22:40:33	(ゲーム) 将棋	貯玉		100	××ホール
1998/01/23 21:01:56	(ゲーム) チェス	貯玉		800	××ホール
1998/01/25 01:56:23	(情報) 競馬予想	口座引き落とし	1500		
1998/01/27 02:08:32	(図画) ゴッホ・ひまわり	クレジット	8600		
合 計		クレジット	9100		
合 計		口座引き落とし	1500		
合 計		貯玉		400	××ホール

[前画面に戻る](#)